

2024年11月1日

各位

会社名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 南 洋 一 郎
(スタンダード・コード番号：6769)
問い合わせ先 取締役総務部長 山 本 武 男
電話番号 03-5217-6660

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年2月2日に公表した2024年12月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年12月期通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,207	1,024	1,026	744	69.58
今回発表予想 (B)	4,668	10	87	111	10.44
増減額 (B-A)	△2,538	△1,014	△939	△633	
増減率 (%)	△35.2	△99.0	△91.5	△85.0	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	5,018	△40	71	△69	△6.44

2. 修正の理由

当社は当期を目標年次とする中期経営戦略「5G & Beyond-NE」を推進しております。戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長により営業利益の3倍増を目標とし、さらに戦略5ゴールを超えた長期成長目標に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当連結会計年度においては、LSI、AIOT 両事業とも下半期、特に第4四半期にかけて売上を大きく伸展させる計画でありましたが、両事業とも当初の期待通りの伸展が見込めず、通期見通しにおいて当初計画を下回る見込みとなりました。

LSI 事業については、中国および米国を中心とした海外市場において前期より大きく改善し売上を伸展させることができましたが、当社の主力分野の一つである事務機器市場およびアミューズメント機器市場向けの売上において、一部に改善の兆しが見えるものの事業環境の改善には至らず、顧客の在庫調整等の影響が継続し、大幅な改善は来期以降にずれ込む見込みとなりました。

AIOT 事業については、自動販売機の遠隔監視や決済端末向け用途の通信モジュール製品の出荷が堅調に推移した一方、ドライブレコーダ向け用途等において顧客需要の大幅な減少や、スマートメーター案件等の一部の大口案件の来期以降への後倒し等により、通期の見通しにつきましては当初計画を下回る見込みとなりました。

これらの結果、当社グループの売上高および売上総利益が当初計画を下回る見込みとなりました。

販売費及び一般管理費については、研究開発活動を順調に進めつつもコスト削減を進めた結果、全体としては当初計画より削減できる見込みとなりましたが、上記理由により営業損益については当初見込みより大幅に減少する見込みとなりました。

また、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益についても上記理由等により当初見込みより大幅に減少する見込みとなりました。

なお、期末配当予想につきましては1株当たり15円の従来予想からの修正はございません。

以上